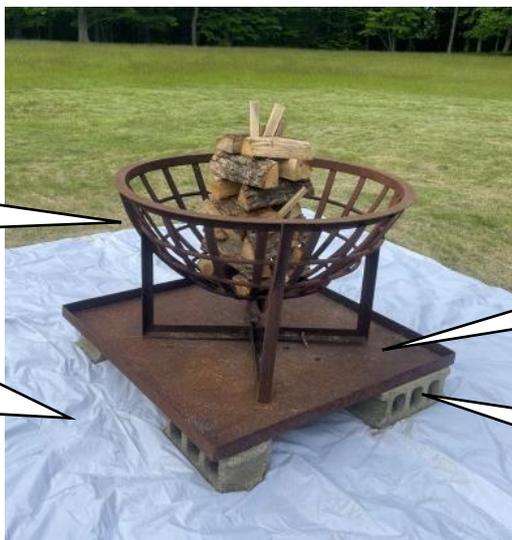


# キャンプファイヤーの準備と後片付け

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル厚岸

## 準備

- ① 必要な物品を事務室でお渡しします。
  - ・薪セット ・トーチ ・灯油 ・着火剤 ・ライター ・ゴミ袋 ・布
- ② 会場準備を行います。
  - ・ファイヤープレースを所定の場所に設置し、薪を組みます。
  - ・バケツに水をはり、周辺に置きます。
  - ・着火剤を半分に折り、トーチの先に固定します。



ファイヤースタンド

ベースプレート

防災シート  
※ 2枚をつなげて

コンクリートブロック

## 薪の組み方（例）

- ① 薪を3～4本程度、敷きつめます。
- ② 井桁（いげた）状に、薪を置いていきます。  
傾きの少ないように、薪の太さを見ながら組んでください。
- ③ 細い板材を上から差し入れます。
- ④ 点火しやすいように、布を巻いた板材を井桁に組んだ薪の横に差し込みます。
- ⑤ 薪や布に、飛び散らないように灯油をかけます。



## 後片づけ方

東屋内にある用具をつかって、後片づけます。

準備：バケツ・一輪車（中に水をはります）、火ばさみ、炭スコップ、ほうき、 など

### 【キャンプファイヤー終了後】

- ① トーチの先を、水のはったバケツに入れ、鎮火させます。
- ② 燃え残った薪は、火ばさみなどで水のはった一輪車に移し、完全に鎮火させます。
- ③ 小さな燃えカスは下のベースプレートに落とし、炭スコップなどで一輪車に入れます。  
※ファイヤースタンドやベースプレートには、できるだけ水をかけないように  
お願いします。
- ④ 一輪車を、東屋付近など他の活動に影響のないところに移動させます。  
※物品も合わせて置いておいてください。（翌日に返却ください）

### 【翌日】

- ⑤ ファイヤースタンドやベースプレートなどを、元の場所に戻します。
- ⑥ 水切りカゴで燃えカスの水をよくきり、ゴミ袋に移します。  
※大きな薪が残っている場合は、火ばさみなどを用いてください。
- ⑦ ゴミ袋に入れた燃えカスを、指定の燃えるゴミステーション（燃えるごみ）に  
捨てます。
- ⑧ 用具等の片づけを行い、受け取った物品を事務所に返却します。

## その他

- ◇ 火に近づきすぎないようにするなど、活動における安全管理をお願いします。
- ◇ 東屋横の街灯にあるコンセントを、音響等でご使用いただけます。
- ◇ キャンプファイヤーの同日利用が他にあった場合、  
団体同士で準備や後片付けを確認・協力して行って  
ください。

